

第3期 守山市教育行政大綱

(令和6年度～令和9年度)

—基本理念—

心豊かで、しなやかに生き抜く人づくり



地域との連携



社会体験活動



守山式授業ベーシックステップの推進



もりやま青年団の活動

趣 旨

デジタルトランスフォーメーションなどの技術革新、グローバル化の進展により、様々な事象が広範囲かつ複雑に伝搬し、社会の変化を正確に予測することがますます難しくなっています。

特に、世界で新型コロナウイルス感染症が拡大し、子どもたちの生活環境が大きく変化し、様々な活動が制限され、人間関係の構築や集団で学ぶことの大切さを再認識しました。

こうした予測困難な時代にあっては、変化に柔軟に対応し、課題を解決に導く力が一層必要であり、誰もが生き生きとした人生を享受することができる共生社会の実現に向けて、教育の果たす役割は、さらに大きくなっていくと思われます。

「第3期守山市教育行政大綱」では、大地に根を張り、成長した木々の枝葉が、様々な試練を乗り越え、成長するイメージを持ち、家庭、学校園、地域が連携し、すべての人がともに学び支え合い、「心豊かで、しなやかに生き抜く人づくり」を基本理念とし、「大綱」を策定します。

位置づけ

大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、本市の教育がめざす基本的な方向や今後推進すべき施策を明らかにするもので、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、政府が策定する教育振興に関する施策についての基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策について、その目標などの根本となる方針を定めるものです。

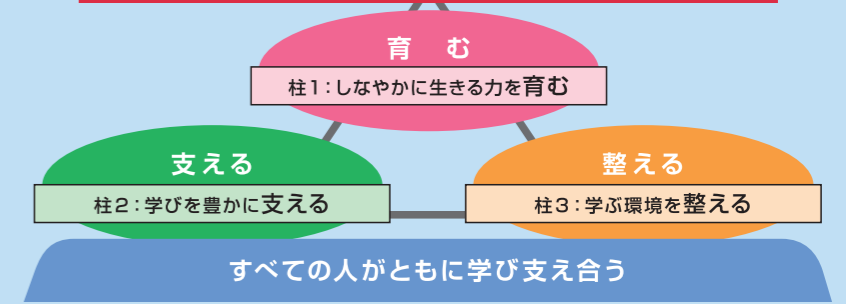
期 間

令和6年度から令和9年度まで（4年間）

構 成

基本理念とそれに基づく3つの柱、基本施策の三段階とします。基本理念に掲げた教育を体現するための3つの柱とそれに沿った具体的な取組内容を基本施策で示しています。

基本理念：心豊かで、しなやかに生き抜く人づくり



基本理念

心豊かで、しなやかに生き抜く人づくり

※お互いの価値観を大切にしつつ
変化に柔軟に対応できる人づくりを目指す。

柱1 しなやかに生きる力を育む		柱2 学びを豊かに支える		柱3 学ぶ環境を整える	
基本施策	具体的な取組	基本施策	具体的な取組	基本施策	具体的な取組
(1) しなやかに生きる力の育成	① 不登校対策 ② 社会的自立への支援 ③ 特別支援教育の推進 ④ インクルーシブ教育システムの構築 ⑤ 自尊感情・ウェルビーイングの向上	(1) 教職員・保育者の資質能力の向上	① 教職員・保育者の指導力育成 ② 守山式授業ベーシックステップの推進 ③ 校種間の円滑な接続 ④ ワーク・ライフ・バランスを確保するための教職員・保育者の働き方改革の推進	(1) 誰もが社会の担い手となるための学びの取組	① 環境学習の推進 ② 防災学習の推進 ③ 平和学習の推進 ④ キャリア教育の推進 ⑤ 消費者教育の展開
(2) 将来にわたって活用できる知性と教養の獲得	① 生きて働く知識・技能の習得 ② 自ら学ぶ力の育成 ③ 体力向上策（外遊びなど）の推進、部活動の充実	(2) 学校園、家庭、地域がともに歩むための社会教育の充実	① 社会教育・生涯学習の充実 ② 地域とともに取り組む学習の推進 ③ 学校園と保護者の連携力向上 ④ 部活動の地域移行の調査研究	(2) 安全・安心に生き抜くための学びの支援	① 立ち直る力(レジリエンス)の強化 ② こどもの育ち連携(価値観の多様化への対応、デジタル機器活用などのルールづくり、虐待防止など)の充実 ③ 教育環境の充実
(3) 「気づき・考え・実行する」ための教育の推進	① 自然体験活動、社会体験活動の実施 ② 「特別活動」の推進 ③ 「道徳教育」の推進 ④ 人権教育・人権啓発の推進 ⑤ 食育の推進	(3) 守山の豊かな地域資源の活用	① 人・自然・びわ湖(青年活動、野洲川、ホテルなど)の活用 ② 文化・芸術活動の振興 ③ スポーツ活動の推進 ④ 図書館の活用 ⑤ 文化財の活用	(3) 時代の変容に即した学びの推進	① ICTを活用した授業づくり ② 英語教育の充実 ③ 国際理解教育の推進 ④ STEAM教育の展開

すべての人がともに学び支え合う

基本理念の実現に向けて

心豊かで、しなやかに生き抜く人づくり

本市の未来を担う子どもたちに、学校園や家庭、本市の豊かな恵み、地域との関わり合いを通して、これからの予測困難な時代を生き抜くための力を養う教育を進めていく必要があります。

このような時代においては、地域社会全体が子どもの教育に関わり、「すべての人がともに学び支え合う」ことで、基本理念の実現に向けた教育を推進します。

柱1 しなやかに生きる力を育む

1 しなやかに「生きる力」を育むための教育を推進します。

様々な知識や技能を習得し、仲間とのふれあいを通して、社会性を身に付け、豊かな情操を育む魅力ある学校づくりを進めます。とりわけ、不登校対策に取り組み、ウェルビーイングの向上を目指した教育を推進します。また、発達特性や特別支援教育に対する関心が高まる中、一人ひとりの資質や能力を育み、適切な支援を行います。

2 将来にわたって活用できる知性と教養の獲得を図ります。

「確かな学力（基本的な知識・技能の確実な習得、探求的な学ぶ力の育成）」「豊かな心（子どもの思いを尊重し、自尊感情を高め、自他を尊重する気持ちや人間関係を築く力などの人格の根幹を形成し、幸せを実感できる豊かな情操を育成）」「健やかな体（外遊びや運動、スポーツに親しみ、生涯にわたって健康を保持できるよう運動習慣の促進）」を充実させ、子どもたちの生きる力を育みます。

3 「気づき・考え・実行する」ための教育を推進します。

守山市は、青少年赤十字の発祥の地であり、これからの時代を生き抜くために、子どもたち自身が課題を発見し、解決するために考え、実行する教育・保育の充実を図ります。また、自然・社会体験などにより、自然や人を愛する思いやりのある心を育み、特別活動を通して、人間関係の構築や集団生活をより良く形成する力を養います。さらに、道徳教育や人権教育を通して、人権意識を高め、いじめを許さない精神や態度を育てるとともに、あらゆる差別の解消に取り組みます。



幼児教育



体力づくり



学校給食

守山市教育行政大綱におけるSDGsの取組



柱2 学びを豊かに支える

1 教職員・保育者の資質能力向上を図ります。

教職員・保育者の指導力向上、守山式授業ベーシックステップの活用により質の高い授業を目指すとともに、子どもたちが相談しやすい体制を整えます。また、教職員・保育者がいきいきと働き、子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、ワーク・ライフ・バランスの確保を図ります。今後も、小1プロブレムや中1ギャップに対応するため、校種間の円滑な接続により、子どもの健全な育成を図ります。

2 学校園、家庭、地域がともに歩むための社会教育の充実を図ります。

将来を担う子どもたちに、地域資源の継承を図り、地域を愛する心を育みます。学校園と地域が子どもたちへの教育を通して関わり合い、相互の学び合いを高め、社会とつながる教育を推進します。また、学校園での学びの重要性が保護者に伝わる教育現場にするとともに、家庭における教育の大切さを発信します。部活動の地域移行に向けては、適切な人材確保などの課題とともに、専門的な指導を受けられるなどの期待も含め、子どもたちにとって、より良い環境となるよう調査・研究を行います。

3 守山の豊かな地域資源を活用した教育を促進します。

本市の恵まれた自然や人、施設など豊かな地域資源を有効に活用し、すべての人の学びの機会拡充を図ります。また、もりやま青年団などの若い世代や地域にある豊富な人的資源を活かした活動を実施し、子どもとともに成長できるよう支援します。さらに、図書館での読書活動の推進、市内各地に受け継がれている文化財の価値の理解、文化・芸術やスポーツの振興に向けて取り組みます。



教職員研修

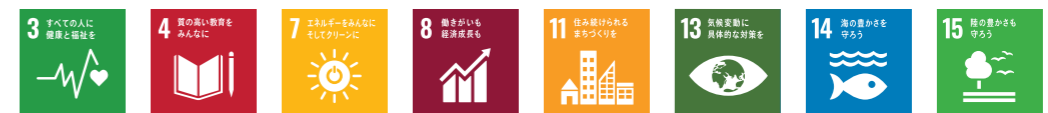


社会教育（スマホ体験講座）



本の読み聞かせ（図書館）

守山市教育行政大綱におけるSDGsの取組



SDGs

平成27年9月に国際連合において採択された「誰一人取り残さない」理念として、令和12年までに持続可能でより良い世界をめざす国際目標（17のゴールと169のターゲット）



柱3 学ぶ環境を整える

1 誰もが社会の担い手となるための学びの充実を図ります。

子どもたちが社会的に自立して成長できるようキャリア教育を推進します。また、本市の恵まれた自然環境を活かした環境学習を進め、持続可能な社会への意識の向上、いのちの大切さの学びにつなげます。さらに、防災教育による自助の力と共助の精神の育成、郷土を愛する心、国際社会の平和と発展に寄与する姿勢を育成します。加えて、インターネットによる詐欺事件が発生していることから、消費者教育の展開を図ります。

2 安全・安心に生き抜くための学びを支援します。

これからの社会を生き抜くため、子どもの自己肯定感の醸成やいのちの大切さを学ぶ教育を推進し、子どもの立ち直る力（レジリエンス）の強化を図ります。また、子どもの身近な存在である教職員・保育者がいじめ、虐待などに適切な対応、支援ができる体制づくりを推進します。さらに、子どもの健全な成長を支える「こどもの育ち連携」の取組、SNSなどを通じた犯罪の被害者にも加害者にもならないための情報モラルの向上、登下校・登降園時の危険を回避できる意識の醸成を図ります。

3 時代の変容に即した学びの推進を図ります。

目指すべき未来社会像として、Society5.0（超スマート社会）においては、社会の持続的な発展を生み出す人材の育成が求められるなか、実社会との関わりを通じたSTEAM教育などの教科横断的な学習を目指すとともに、ICTを効果的に活用した授業を展開します。また、英語教育の充実や日本文化の継承、国際社会への理解を推進するための教育を進めます。



環境学習



ICTの利活用



英語教育の充実

守山市教育行政大綱におけるSDGsの取組

